



クロルピクリン 錠剤

クロルピクリン錠剤とは

クロルピクリン錠剤は、土壌消毒効果で信頼の高いクロルピクリン液剤を特殊な方法で固形化した錠剤タイプの土壌殺菌・殺線虫剤です。

※外包装を開封した際は必ず全量を使いきってください。



成分および形状

- 有効成分：クロルピクリン……………70.0%
- その他成分：ゲル化剤等……………30.0%
- 1錠重量：4g（直径2.5cm。厚さ0.5～0.6cm）
- 包装形態：1錠ごとに、ガス不透過性・水溶性フィルムで真空包装（内装）し、さらにこの内装された錠剤をガス不透過性フィルムを用いて減圧包装（外装）しています。

段ボール箱 100錠×20袋／400錠×8袋



適用病害虫 | いちご | (抜粋)

作物名	適用病害虫 雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の 総使用回数
いちご	萎黄病 一年生雑草	1㎡当り 10錠	2回以内 床土 1回以内 圃場 1回以内	土壌くん蒸 圃場：「1㎡当り10錠処理」。 地表面に所定量を散布処理する。	3回以内 床土 1回以内 圃場 2回以内
	萎黄病 疫病 炭疽病 センチュウ類	1穴当り 1錠		土壌くん蒸 床土・堆肥：床土・堆肥を30cmの高さに積み、 30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。 圃場：「1穴当り1錠処理」。 30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。	

※クロルピクリン錠剤は各種作物に登録がありますので、下記まで資料をご請求ください。

使用上の注意事項 (抜粋)

- クロルピクリン錠剤に使用している包装は水溶性のため、濡れた手で作業しないでください。
- クロルピクリンは催涙性の刺激を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意してください。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- クロルピクリンは、皮膚に対して強い刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い流してください。
- 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないように十分注意してください。
- 拡散ガスによる危害を防止するため、本剤処理後は必ずビニール等で被覆してください。特に住宅周辺での使用に当たっては、ガスによる危害の発生防止に十分配慮してください。
- ハウス等で使用する場合には、出入り口、天窗、側窓等を開け通気を良くして作業を行ってください。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らないでください。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- クロルピクリン錠剤処理前にアルカリ肥料、特に消石灰を施用すると作物に薬害を生じるおそれがあるので、これらの肥料は、ガス抜き後に施用するか、または、クロルピクリン錠剤処理の10日以上前に施用してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。
○人家、家畜、鶏舎周辺での使用に当たっては、ガスによる危害の発生防止に十分配慮してください。 ○保管するときは、鍵のかかる冷暗所に保管してください。

連絡先

南海化学株式会社

▶東京支店：〒115-0051 東京都北区浮間5丁目8番18号 TEL 03-5916-1890
▶土佐オフィス：〒781-8010 高知市棧橋通4丁目10番1号 TEL 088-831-6191

22.03.50TS

いちごの土壌消毒は！

クロルピクリン錠剤



「うね立て後土壌消毒」の特長

使って簡便

安全・安心

確かな効果

増収効果も期待できます ▶▶▶▶▶▶▶▶

資料をご請求ください

Point

うねをよく乾かすと効果が高まります



クロルピクリン錠剤

クロルピクリン 錠剤

NANKAI
chemical

クロルピクリン 錠剤

による、

「うね立て後土壌消毒」法



特性

- 萎黄病、炭疽病、センチュウ類、雑草等の発生を抑制します。
- 土壌中の無機態窒素が増加するので、いちごの窒素吸収量が多くなり、葉柄長、葉身長、葉幅が大きく、初期生育が旺盛になります。
- いちごの発根量が多く、総収量増加も期待できます。
- 慣行土壌消毒法に比べて土壌中の有機物の無機化割合が多く、長年継続施用すると地力の低下が懸念されます。**堆肥などの施用**を心がけてください。

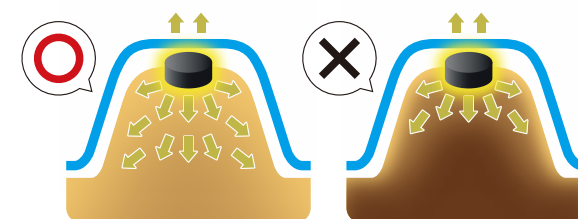
Point

「うね立て後土壌消毒」には乾燥が大切！

シートで表面を覆い、クロルピクリンガスを土中に浸透させる「うね立て後土壌消毒」法は、ガスを一定期間シート中に閉じ込め、土中にできるだけ早く、深く浸透させることが効果を高めるコツです。ガスの通りを良くするためにはうねをできるだけ乾燥させる必要があります。

乾燥の目安

- ① 表面は白く乾いている。



- ② 地中 5～10 cm の土を軽く握って放すと、2～3個に割れる。

土を握ろう



1 畑や消毒の準備

- ① クロルピクリン処理前に必ず残渣を取り除いてください。

- ② うね立て前に堆肥や基肥を入れておきます。

基肥は通常より3割程度減らしてください。

- ③ うね表面の整地は必要ありません。

錠剤は中央のくぼみに散布します。

- ④ うねを乾燥させてください。うね立て後数日間はそのまゝの状態にしておきます。



被覆シートをうね間に準備しておきます。

2 薬剤処理・工夫への追加



錠剤を凹んだうねの表面にばら撒き散布します。



地表面が白く乾いているくらいの湿り気がまき時。

工夫

- 長いうねの場合、うねの途中に目印をつけておくと、散布間隔の目安となります。
- 半うねでは、傾斜部に棒などで軽く溝を掘っておくと、錠剤の散布がしやすくなります。

まき時

うねの表面が白く乾いてきたら、深さ 4～5 cm の土を握って乾燥状態を確認します。錠剤を包んでいるフィルムはわずかな水分によって緩み、土中に浸透し、拡散します。

注意

錠剤は地表面に穴や溝を掘って埋め込む必要はありません。

3 被覆

シート被覆はクロルピクリンガスの効果を高め、無駄な揮散を防ぐために欠かせません。処理後は必ず農ポリ等（0.03 mm 以上）で被覆を行ってください。

注意

うね面を覆土してください。薬剤が被覆資材（特に農ビ）に直接触れると穴が開くおそれがありますので、覆土して直接触れないようにします。



覆土

被覆

4 被覆除去・定植

標準的なくん蒸期間

平均地温	くん蒸期間
25～30℃	約 10 日
15～25℃	10～15 日
10～15℃	15～20 日
7～10℃	20～30 日

定植時の灌水のお願い

クロルピクリン処理時にうねをよく乾燥させたので、灌水は入念に行い、土中に十分水分が行き渡るようにしてください。

ガス抜きは不要です。標準的なくん蒸期間の表を目安に被覆を除去し、定植を行ってください。

※気象条件や土質等によっては、標準的なくん蒸期間よりも長くなることも考えられますので、ご注意ください。

高設栽培での利用

- ① 培地は適度な湿り気があり、表面が乾いた状態のときが、散布に適しています。
- ② 培地の幅が 30cm の場合は、30cm ごとに 1 錠を置いていきます。
- ③ 処理終了後、速やかに農ポリ等でベッドの開口部まで覆い、ガスが漏れないようにします。

注意

処理後、錠剤の残渣が目につきますが、いちごには無害です。



高設栽培

親株床での利用

秋（一定の地温が保たれている時期）に消毒を行います。高設採苗、土耕採苗等の方法がありますが、地表面処理、高設栽培に準じて消毒を行ってください。



高設栽培